開催日：令和7年3月15（土）

新宿区自治フォーラム 2025

パネル・ディスカッションの質疑応答において当日回答できなかった内容に対する回答

* 質問内容

地域協働学校運営協議会には地元の企業も委員として参加しています。児童生徒に職場体験など企業貢献をしていただいております。今後、地域協働学校運営協議会に、どのように企業に参加していただける可能性があるのか、パネリストに質問したいと思います。

【回答1】

民間企業は CSR の観点からの関りもありますが、「社会実験」のフィールドとして関わりたい意向があります。私は、そのような民間企業と自治体の橋渡しをしています。

地域協働学校の取組の一つに登下校の見守りがあります。例えば、この分野で「防犯」を事業活動している民間企業は、フィールドを提供することより、参画する可能性はあります。実際、防犯カメラの設置に加え、ICT を活用し、児童の登下校をリアルタイムで見守る仕組みに関して、千葉県某自治体で実証実験をするときに、私自身もかかわりました。

そのほか地域協働学校は多様な取組みをしていますから、民間企業のフィールドとして提供できる可能性は高いと思われます。

【回答2】

これまで地域協働学校運営協議会が様々な活動を実施してきたなかで何が課題なのか、またどのような状態に持っていきたいのかが分からない状態での回答となります。

（総務省管轄の地域情報化アドバイザーと活動してきた中で、どの自治体でも担当者の方からの質問は、現在の本質的な課題を提示せず、実施するための手段を問われている場合が少なくないからです。）

単発の施策だと、企業は最初はお付き合いはしますが、活動を実施する【想い】を明確にして伝達しなければ民間企業としてはお付き合いしても・・・となります。フォーラムの中で私が企業の CSR 担当の立場でコメントしましたが、企業の立場を考える努力をしていただくことも必要です。

そして、新宿区としてこの活動を実施する【価値】を明確にしていただき、企業に伝えることが重要ではないでしょうか。

以上